

診療報酬改定説明会開く

公私病連ニュース

発行所
一般社団法人
全国公私病院連盟
東京都台東区寿4丁目15-7(〒111-0042)
食品衛生センター7階
TEL03(6284)7180 FAX03(6284)7181
https://www.byo-ren.com/
編集
全国公私病院連盟・広報委員会
毎月1日発行 年間購読料1,000円
(購読料は会費に含まれます)

国民医療の
確保のために
病院診療報酬の
引き上げを

医療機関が宿日直許可を取得しないことを求めるのではなく、当該治療室に勤務する専任の医師が、宿日直を行う医師ではないことが求められるものである。

【問84】「A300」救命救急入院料、「A301」特定集中治療室管理料の「1」から「4」、「A301-4」小児特定集中治療室管理料、「A302」新生児特定集中治療室管理料、「A302-2」新生児特定集中治療室管理料、「A303」治療室管理料及び「A303-1」母体・胎児集中治療室管理料の施設基準強化において、「当該専任の医師は、宿日直を行う医師ではないこと」とされるのか。

【答】当該要件は、保険

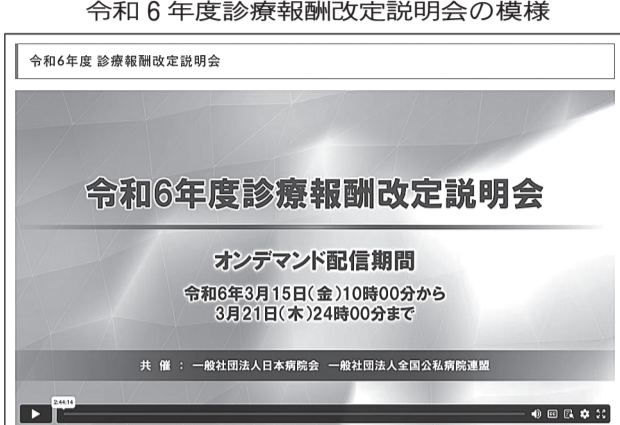
公私病院連盟と日本病院会の共催で

令和6年度改定の説明会

全国公私病院連盟は日本病院会と共催で3月14日(木)に「令和6年度診療報酬改定説明会」を開催した。当日は、日本病院会の相澤孝夫会長と全国公私病院連盟の邊見公雄会長が開催挨拶を行った後、日本病院会の診療報酬検討委員会委員長で前・中央社会保険医療協議会の委員を務めた島弘志先生の司会により、講師に厚生労働省保険局医療課の加藤琢真・課長補佐を招聘して、同氏から3月5日(火)に告示された令和6年度診療報酬改定の説明を受けた。なお、講演の様子は3月15日はライブ配信で行なわれ、翌日から24日まで同様の内容を録画で視聴できるようにした。



講師：
厚生労働省保険局
医療課
加藤琢真・課長補佐



(右写真) 日病診療報酬
検討委員会委員長、前中
医協委員 島弘志先生



(右写真) 全国公私病院
連盟 会長 邊見公雄



(右写真) 日本病院会
会長 相澤孝夫先生



厚労省が疑義解釈

厚生労働省保険局医療課は3月28日付で、今回の診療報酬改定に伴う事務連絡「疑義解釈資料」の送付について(その1)を発売していますのでお知らせします。

※以下に「疑義解釈」の一部を掲載します。

【治療室一般】
【問83】「A300」救命救急入院料、「A301」特定集中治療室管理料の「1」から「4」、「A301-4」小児特定集中治療室管理料、「A302」新生児特定集中治療室管理料、「A302-2」新生児特定集中治療室管理料、「A303」治療室管理料及び「A303-1」母体・胎児集中治療室管理料の施設基準強化において、「当該専任の医師は、宿日直を行う医師ではないこと」とされるのか。

【答】当該要件は、保険

時評

先日、全日本建設技術協会の大石久和先生の講演を聴く機会を持った際、「国土に働きかけなければ、国土は恵を返してくれない、国土は我々が働きかければかけるほど、より多くの恵を返してくれる」という言葉にハッとさせられた。

この数年で、我々医療従事者は国民の皆様とともに、暗く険しいトンネルをくぐり、ウイルスの毒性や流行パターンにより、各専門分野なりの切り分け方を学び成長した部分がある。



連盟 理事 石川悦久

コロナ禍を通して感じたこと

あるものの、医療現場ではいまだにクラスターを通して診療の制限と解除に翻弄されている病院も多い。また、患者さんとご家族だけでなく、行政も含めた国民皆様の協力がなければ、我々の力は儂いものであることも実感した。

一方、社会全体として、子供も含めた若い世代について語るときに、コミュニケーション不足などの弊害に、負の側面ばかりが指摘されていることに違和感を覚える。

実際、我が国では、彼ら若い世代の忍耐と値するものである。人生の大切な時期に、あれだけの制約を迫られたり、自分の境遇と向き合った世代の中から、沢山の優秀な人材が輩出し、将来的に彼らの代がきつとやってくる。

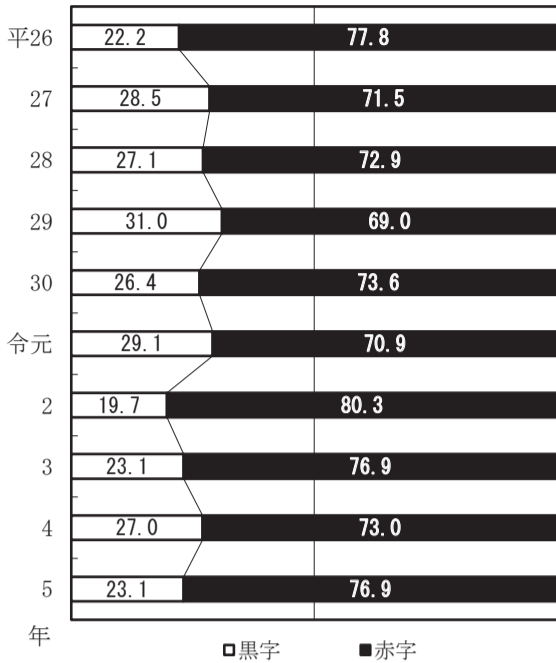
なく、人的資源が重要な医療業界において、まず我々医療従事者が若い世代に敬意と感謝の念を持ち、そして彼らの協力があって初めて、限られた仲間と限られた条件の中で培った大切な時期だったと思ひ返し、比較的恵まれた環境にあった若い世代の人が、そうでなかった人々を思いやることのできる社会を実現するためにも、医療業界や国の方針に従ってくれた彼らに、まず感謝と敬意をこめて何をどう働きかけていくべきか考え実践していきたい。

(御殿場石川病院・理事長)

いる鉛筆

2040年代では人口は約1億人になり、うち高齢者が30%以上を占めるとの推測がある。少子高齢化はその先も進むことは皆が信じている。今後の高齢者医療をどうするか、当然負担と給付がセツトになることになるが、若者への負担軽減が政策的に語られていることは当然であるが、今の若者たちも2050、2070年代には高齢者に含まれてくることを考えておく必要がある。今回の診療報酬改定の目玉の一つに、高齢者救急患者をどうするかが議論されている。高齢者は何といつても、多くの合併症を有しているし、一般急性期の入院患者の平均年齢は70歳前後であることからして、在宅や諸施設からの高齢者救急救命医療をどうするか?地域包括医療病棟など新設の入院料を設けることで7対1の急性期一般入院料1を減らす動きがある一方、重症度、医療・看護必要度の引き締めに躍起になっている姿が見える▼プラス0・88%の改定率は一見病院経営にはいい数字であるが、そのうち0・61%が人件費増額相当であると本体部分はどうなるのか、今の時点では見当がつかない。24年度2・5%、25年度2・0%のペースアップが叶うかどうか心配である。(H.S)

図5 6月1日分の総損益差額からみた黒字・赤字病院の数の割合(%) 年次推移



令和5年6月 病院運営実態

2面からつづく

外來では呼吸器内科の4万541円をはじめ、消化器外科3万7892円、呼吸器外科3万5267円などが高額であるのに対し、最も小額なのはリハビリ科の5262円である。

患者1人1日当たり診療収入を主な診療科別にみると2-1、2-2および図3-1、3-2のようになっている。

(9) 100床当たり収支金額
6月中の総費用は2億4239万1千円(前年6月比・伸び率2.8%増)、医療費用は2億3955万3千円(前年6月比・伸び率2.7%増)となっている。また、医療費用のうち給与費は1億2103万3千円(前年6月比・伸び率1.4%増)、材料費は6498万円(前年6月比・伸び率3.4%増)、経費は3721万4千円(前年6月比・伸び率5.1%増)となっている。

なお、材料費のうち薬品費は3920万2千円(前年6月比・伸び率4.7%増)となっており、経費のうち委託費は1893万9千円(前年6月比・伸び率1.8%増)となっている。

6月中の総収益は2億2341万1千円(前年6月比・伸び率0.5%増)、医療収益は2億1902万6千円(前年6月比・伸び率0.6%増)となっている。また、医療収益のうち、入院収入は1億4384万3千円(前年6月比・伸び率1.3%増)、外來収入は6799万5千円(前年6月比・伸び率0.7%減)となっている。

100床当たり収支金額を科目・年次別にみると表3のようになっている。

(10) 100床当たり総損益差額および医療損益差額の状態

表3 100床当たり収支金額、科目・年次別

科目	金額単位:千円				
	令和元年6月	令和2年6月	令和3年6月	令和4年6月	令和5年6月
【費用】					
総費用	218,132	215,538	227,157	235,871	242,391
I 医療費用	214,310	212,478	223,705	233,230	239,553
1. 給与費	111,451	111,738	115,390	119,324	121,033
2. 材料費	53,945	52,839	58,591	62,850	64,980
うち薬品費	32,431	32,309	35,565	37,425	39,202
3. 経費	32,426	32,039	33,805	35,415	37,214
うち委託費	16,568	16,761	17,844	18,613	18,939
4. 減価償却費	14,073	13,673	13,814	13,600	14,118
5. 資産減損	349	229	244	187	194
6. 研究・研修費	990	900	793	810	840
7. 本部費分担金等	1,076	1,059	1,068	1,045	1,173
II 医療外費用	2,464	2,407	2,165	2,119	2,127
III 特別損失	1,358	653	1,287	521	711
【収益】					
総収益	204,772	193,478	208,001	222,200	223,411
I 医療収益	200,610	188,957	203,917	217,618	219,026
1. 入院収入	133,350	124,498	130,718	142,044	143,843
2. 室料差額収入	2,404	2,111	2,049	2,200	2,210
3. 外來収入	60,056	58,832	65,883	68,491	67,995
4. 公衆衛生活動収入	1,720	1,227	2,184	1,888	1,936
5. 医療相談収入	2,365	1,981	2,352	2,365	2,599
6. その他の医療収入	715	308	730	630	444
II 医療外収益	3,404	4,016	3,204	3,622	3,681
III 特別利益	758	505	880	960	704
総収益 - 総費用	△ 13,360	△ 22,060	△ 19,156	△ 13,671	△ 18,980
医療収益 - 医療費用	△ 13,700	△ 23,521	△ 19,788	△ 15,612	△ 20,527
総費用/総収益×100	106.5	111.4	109.2	106.2	108.5
医療費用/医療収益×100	106.8	112.4	109.7	107.2	109.4
病院数	635	659	593	500	520
平均病床数	306	295	299	320	310

総費用は2億4239万1千円(前年6月比・伸び率2.8%増)であるのに対して、総収益は2億2341万1千円(前年6月比・伸び率0.5%増)となっており、総収益から総費用を差し引くと△1898万円の赤字となっている。総損益差額を年次別にみると図4のようになっている。

(11) 6月1カ月分の総損益差額からみた黒字・赤字病院の数の割合

(※他会計負担金・補助金等は総収益から控除した。また、6月1カ月分の総費用と総収益の差額により黒字・赤字状況を判別した場合の病院数の割合である。)

今回の調査において回答のあった病院520院のうち23.1%(120病院)の病院が黒字となっており、赤字病院は76.9%(400病院)であった。これを年次別にみると図5のようになっている。

開設者別で見ると、自治体病院203病院のうち7.9%(16病院)が黒字となっており、赤字病院は92.1%(187病院)であった。(この場合、不採算部門等の医療に対し、地方公営企業法に基づき地方公共団体が負担すべきものとされてる負担金や補助金等は総収益から除いて仮定計算を行っているため、法令に基づく病院決算時点での黒字・赤字とは異なる。)

180病院のうち26.7%(48病院)が黒字となっており、赤字病院は73.3%(132病院)であり、私的病院では137病院のうち40.9%の56病院が黒字となっており、赤字病院は59.1%(81病院)であった。

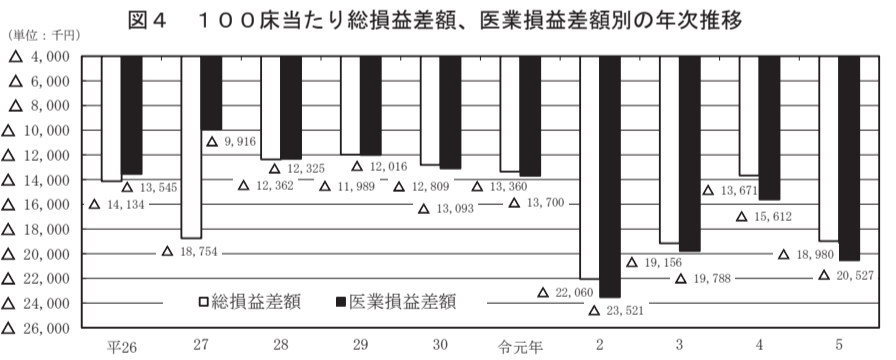
(12) 常勤職員1人当たり平均給与月額

開設者別で見ると、自治体病院203病院のうち7.9%(16病院)が黒字となっており、赤字病院は92.1%(187病院)であった。(この場合、不採算部門等の医療に対し、地方公営企業法に基づき地方公共団体が負担すべきものとされてる負担金や補助金等は総収益から除いて仮定計算を行っているため、法令に基づく病院決算時点での黒字・赤字とは異なる。)

注意事項

(1) 調査における基礎数値は、6月分の集計数値または6月30日現在の数値である。

(2) 概要の中で、「自治体」とは、都道府県・指定都市・市町村・組合が開設する病院ならびに地方独立行政法人立の病院、「その他公的」とは、日赤・済生会・厚生連・社会保険関係団体等が開設する病院、「私的」とは、医療法人・個人等が開設する病院である。



全国公私病院連盟から新刊のご案内

発刊：一般社団法人 全国公私病院連盟

収支の状況を統計的に把握!!

令和5年6月調査

病院経営実態調査報告

内容：経営収支の状況、医療収支の状況 など

〔定価 12,000 円+税 A4版 約785 ページ〕

経営上の指標を量的・質的に分析!!

令和5年6月調査

病院経営分析調査報告

内容：患者 医師1人1日当たり診療収入 など

〔定価 16,000 円+税 A4版 約750 ページ〕

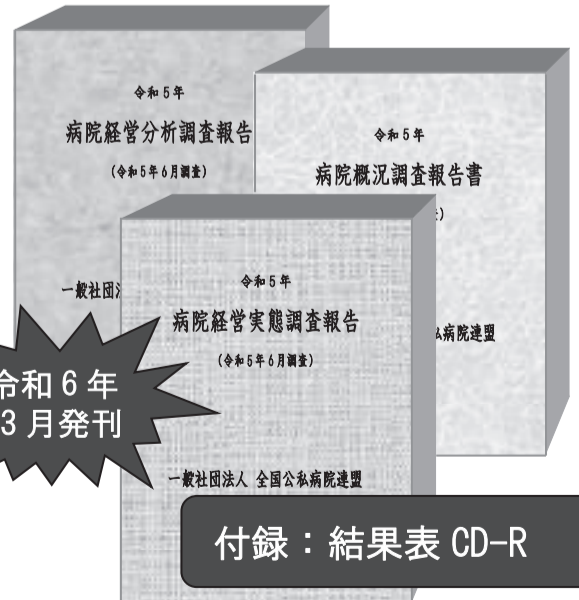
令和5年6月調査

病院概況調査報告書

内容：病床利用率、在院日数、施設状況 など

〔定価 18,000 円+税 A4版 約658 ページ〕

全国公私病院連盟のホームページから過去の調査の概要がご覧いただけます。



令和6年3月発行

付録：結果表 CD-R

購入のお申し込みは、全国公私病院連盟へ TEL 03(6284)7180

今月の一冊と一本

今月は「八月の御所グラウンド」。今回の直木賞受賞作である。著者が京都大学卒という事で、芥川、直木、江戸川など文学賞受賞作に飛び付くのはミスターハートの、熱が冷めてから読むという鉄則を破ってしまった。実は学生時代は御所グラウンドで草野球をやり、父親になってからは2人の息子と三角ベースなどをよくやった思い出の地がタイトルだったから。本は上司達が学生時代からのマドンナのバームタムのご褒美(ほっぺにチュウ)を自当に、自分の講座の学生や自社の若手社員などでチームを作って試合をするのである。卒業論文を餌的に主任教授に与えられた主人公、メンバー集めに深夜勤務のバーのアルバイトボーイや色々な仕事の達人の混成チームが、元ノンプロの有名チーム所属だった投手を打ち崩したりする。痛快コメディ的な要素もある。中国からの女子留学生などは現在も身近に居そうである。我々が学生だった頃の京都は「坊さん、学生さん、芸舞妓さん、この3さんで持っている街なので皆この3つを大事にしますよ」が下宿の叔母さんの口癖だった。僧侶、寺院はこの小説には出ていないが、後の2つは底流にあり、やはり京都らしい物語。フィナーレに近い五山の送り火、彼女が戻って来るハッピーエンドも青春小説らしい。又、新選組や学徒出陣など先の戦争で亡くなった大投手らしき人も出場する。この御所グラウンドの近くには関西迎賓館が出来、外国からの賓客や皇族などが泊まれる時々使用が制限されるのが利用者の悩みの様である。早朝に次回の使用が高倍率の籤引きで長蛇の列だったのも懐かしい思い出である。因みに私達の下宿チームはこのグラウンドで成績は良くなかつた率は3割位。私が予告登板し家庭教師の女子高生や中学生を応援に呼んだ試合は3回途中でボコボコに打たれ、ボコ負けした苦い経験も…。同じ本に掲載の「十二月の都大路」も年末の高校女子駅伝が描かれ、同系のスポーツ青春録で楽しく読める一冊である。

『八月の御所グラウンド』
万城目 学 / 著
文藝春秋 / 刊

『PERFECT DAYS』
監督 / ヴィム・ヴェンダース
キャスト / 役所広司 他



令和6年度 事業計画書

- 3月8日に開かれた全国公私病院連盟の3月の理事会で、「令和6年度事業計画書」が了承されている。
- 全国公私病院連盟では、国民医療の確保と会員病院はもとより全国の病院の医療・保健・福祉活動に資するため、以下の事業を推進することとしている。
1. 診療報酬および介護報酬対策運動の推進
 - (1) 令和8年度診療報酬改定に向けた対策の推進
 - (2) 控除対象外消費税の解消対策の推進
 - (3) 中央社会保険医療協議会への病院の意見反映
 - (4) 次期介護報酬改定に向けた対策の推進
 2. 医療制度対策の推進
 - (1) 医療保険制度対策の推進
 - (2) 専門医制度対策
 - (3) 勤務医師確保対策および労働負担軽減対策
 - (4) 医療提供体制対策の推進
 3. 高齢者医療・介護対策の推進
 - (1) 介護保険制度対策の推進
 - (2) 適正な高齢者医療対策の研究および提言
 - (3) 組織強化対策の推進
 4. 組織強化対策の推進
 - (1) 加盟団体の組織強化の推進
 - (2) 日本病院団体協議会(日病協)との連携
 - (3) 日病協「代表者会議」
 5. 病院経営改善対策の推進
 - (1) 病院の経営改善策
 - (2) 税制対策の推進
 - (3) 調査活動の推進
 - (4) 令和6年6月病院運営実態分析調査の実施および報告書の発行
 6. 調査活動の推進
 - (1) 令和6年6月病院運営実態分析調査の実施および報告書の発行

- (2) 病院経営健全化のために必要な調査の実施
7. 広報活動の推進
 - (1) 「公私病連ニュース」の発行
 - (2) 第34回「国民の健康会議」の開催
 - (3) 「広報委員会」の運営
8. 研修活動の推進
 - (1) 講習会の開催
 - (2) 第32回診療報酬請求事務セミナー
 - (3) 第35回看護管理セミナー
 - (4) 第20回DPCセミナー
9. 保険事業の推進
 - (1) 病院賠償責任保険の取り扱い
 - (2) 勤務医師賠償責任保険の取り扱い
 - (3) 看護職賠償責任保険の取り扱い
 - (4) 医療機関用サイバー保険の取り扱い
 - (5) 居宅事業者総合保険の取り扱い
 - (6) 株式会社公私病連共済会(保険代理店)との連携
 - (7) 特定退職金共済制度の推進と取り扱い
 - (8) 医療・福祉関係団体との連携強化
 - (9) 「創立60周年記念式典」の開催

全国公私病院連盟の各種団体保険

- 病院賠償責任保険
- ・勤務医師賠償責任保険(包括契約・個人契約)
 - ・看護職賠償責任保険(包括契約)
 - ・医療従事者賠償責任保険(包括契約)
- 医療機関用サイバー保険
- 医療廃棄物排出者責任保険
- 医療機関用受託者賠償責任保険
- 現金総合保険
- 医療事故調査費用保険
- 訪問看護事業者賠償責任保険
- 保育所賠償責任保険・保育所傷害保険
- 医療施設特約オプション
- 雇用慣行賠償責任保険
- 使用者賠償責任保険
- 居宅事業者総合保険

〈お問合せ先〉

<p>取扱代理店</p> <p>株式会社 公私病連共済会</p> <p>〒111-0042 東京都台東区寿4-15-7</p> <p>食品衛生センター7階</p> <p>TEL 03-5830-6193 FAX 03-5830-6194</p> <p>受付時間: 平日の午前9時から午後5時まで</p>	<p>引受保険会社</p> <p>損害保険ジャパン 株式会社</p> <p>〒160-8338 東京都新宿区西新宿1-26-1</p> <p>TEL 03-3349-5113 FAX 03-6388-0153</p> <p>受付時間: 平日の午前9時から午後5時まで</p>
--	--

保険の詳しい内容については、取扱代理店または損保ジャパンまでお問い合わせください。

全国公私病院連盟 役員会日より

期日 3月8日(金)

会場 スクワール 町3階「華」

【主な報告事項】

- ①日病協「代表者会議」(2月16日) 浦田副会長より報告があった。
- ②日病協「診療報酬実務者会議」(2月21日) 中野常務理事より報告があった。
- ③小熊副会長からの報告
- ④小熊副会長より、社報告
- ⑤連盟のロゴについて

【主な協議事項】

- ①令和6年度事業計画書(案)について
- ②令和6年度収支予算書(案)
- ③令和6年度積立金の取り崩し(案)
- ④令和6年度「定時総会」について
- ⑤令和6年度「理事会」の日程(11月の変更)
- ⑥令和6年度「理事会」の日程(11月の変更)
- ⑦連盟「第33回診療報酬請求事務セミナー」(WEBセミナー)の開催
- ⑧前回「理事会」(2月9日)議事録案

【事務連絡】

- ①次回以降の「理事会」等日程
- ②連盟「第33回診療報酬請求事務セミナー」(WEBセミナー)の開催
- ③前回「理事会」(2月9日)議事録案

以上

会場の様子